

県西部地域の課題解決に向けた取組みの実践(委託事業)について

地域系部活動課題解決支援事業実施要領4(1)イに定める事項については、次のとおりとします。

1 目的

島根県西部地域は、人口減少、少子高齢化等の進展が早いペースで進んでおり、生活機能・生活交通・産業振興等の面において様々な課題を抱えています。

このような中、島根県西部県民センターでは、平成26年度以降、「地域系部活動設置促進事業」「地域系部活動推進事業」により、高校生と地域を結び付けるべく取り組んできたところですが、地域系部活動が設置された高等学校では、高校生が地域で活動し、各種の地域貢献を行ってきたことにより、地域の活力創出の効果が見受けられるため、このような地域系部活動の力を有効に活用し、地域の活性化を図ることを目的とします。

また併せて、その活動を通じ、高校生の地域への愛着や誇りを醸成し、将来のU I ターンの促進や次世代を担う人づくりを促進することも狙いとしています。

2 委託業務名

平成31年度 地域系部活動課題解決型委託業務

2 事業年度及び委託期間

事業年度：平成31年度（単年度）

委託期間：契約締結日から平成32年3月31日まで

3 事業内容(委託業務の内容)

地域系部活動顧問等の指導監督のもと、地域系部活動部員の経験、スキル、発想等を活かし、取組テーマに沿った次の活動を実施する。

(1) 施策の検討及び取りまとめ

地域系部活動の部員により、取組テーマに沿った解決策を調査・検討し、提案施策を取りまとめる。

(2) 取組みの決定及び実践に向けた準備・調整

(1)の施策のうち、地域系部活動において、実際に実践活動を行う内容を決定し、実践に必要な準備・調整等を進める。

(3) 活動の実践

(2)で決定した内容について、地域系部活動により実践活動を行う。

(4) 活動状況及び成果の取りまとめ

(1)から(3)までの活動の状況及び成果を取りまとめ、報告書を作成の上、提出する。また、業務において取り組んだ内容は、地域系部活動課題解決支援事業の報告会で発表を行う。

4 委託先

委託先は、委託テーマに取り組もうとする県西部県立高校等の地域系部活動とします。
(地域系部活動の定義は、地域系部活動課題解決支援事業実施要領2と同様)

5 委託テーマ(予定)

- (1) 萩・石見空港利用者増加のための施策
- (2) 島根県立しまね海洋館アクアス入館者増加のための施策
- (3) しまね留学者の効果的な募集のための施策(関係人口、移住者増加のための施策含む)
- (4) 中高生の地域行事への参加者増加のための施策
- (5) その他石見圏域の地域振興に資する施策

6 委託費の上限額

委託費総額 120 万円が上限です。(複数件の応募・採択があった場合は、複数件の合計額が 120 万円に収まる必要があります。)

7 選定等の流れ

(1) 委託事業への応募

委託事業に応募しようとする地域系部活動は、別添様式により応募締切日までに委託事業参加要望書を提出してください。

(2) 応募締切日

平成31年4月26日(金)

(3) 応募部活動へのヒアリング等

提出された要望書に基づき、地域系部活動からのヒアリングや活動先への確認等を実施し、県関係機関の意見も参考としつつ、西部県民センターにおいて委託先を選定します。

また、同一テーマに対して複数校の応募があった場合は、ヒアリング等を通じ、当該複数校連携による取組みへの修正かどうか等の調整を行います。

(4) 見積書の提出及び契約

選定された地域系部活動から、委託費の見積書の提出をうけ、委託契約を締結します。

(5) 計画の策定、活動の実施及び進捗の報告

契約締結後には、実施計画を策定の上、活動に取り掛かります。また、活動の状況を適宜ご報告いただきます。

なお、取組テーマに関して、萩・石見空港やしまね海洋館アクアス等の県関係機関との話し合いが必要な場合は、西部県民センターが調整します。

(6) 報告書の提出及び報告会での発表

委託事業が完了したときは、完了報告書を作成の上、提出いただきます。また、地域系部活動課題解決支援事業の報告会により活動内容等を発表していただきます。

8 その他

その他事業の実施に際して必要な事項は、別途ご連絡いたします。

(委託事業様式1)

番 号
平成 年 月 日

西部県民センター所長 様

(学校長名)

平成 31 年度地域系部活動による委託事業参加要望書

地域系部活動課題解決支援事業実施要領 4 (1) による業務委託を受けたいので、下記のとおり要望します。

記

1 地域系部活動の名称及び概要

2 受託したい取組テーマ

3 地域系部活動の体制

- (1) 担当(顧問)教員の職・氏名(複数の場合は全員を記載)
責任者(窓口)となる教職員：
その他の担当教職員等：

- (2) 部員の構成(学年ごとの人数)

4 業務を受託した場合の活動方針

(どのような考え方、どのような進め方を想定しているかを記載)

5 業務を受託した場合のおおまかな活動スケジュール

6 連携先

(1) 連携したい他校の地域系部活動又は学校の名称：

その他連携したい地域団体等の名称：

(2) 連携の内容

7 活動費の予定

円

8 本事業による委託契約の締結予定者

団体名：

代表者職・氏名：

事務処理担当者職・氏名：

9 その他特記事項

(参考)委託テーマに関する情報

①萩・石見空港利用者増加のための施策

(空港の概要)

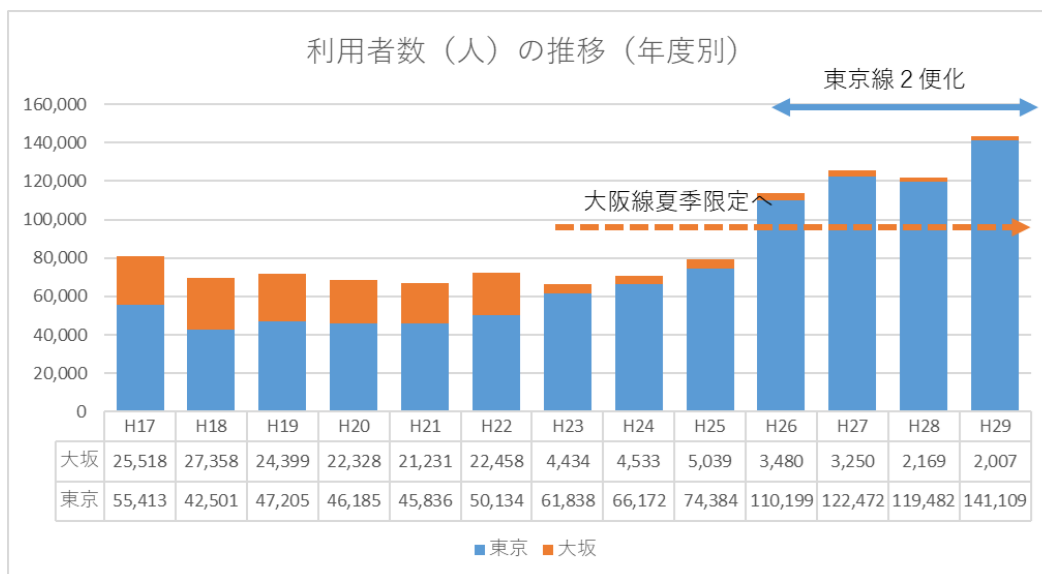
- ・島根県西部及び山口県北東部は、約 33 万人の圏域人口と、石見銀山、津和野、萩等の多彩な観光地を擁していますが、既存の空港、新幹線等の高速交通網から離れており、交通網の整備が長年の課題でした。
- ・萩・石見空港は、この地域の高速交通網の中核となるべく、昭和 63 年度から整備が実施され、平成 5 年 7 月 2 日、2,000m の滑走路を有する中型ジェット機が就航可能な空港として供用を開始しました。
- ・現在、東京国際空港（羽田）との間の定期便（平成 26 年 3 月 30 日より 1 日 2 往復）、大阪国際空港（伊丹）との間の季節便（平成 28 年度は 8/5～8/31 運航予定 1 日 1 往復）が就航しており、地域の産業、経済、文化の活性化に大きな役割を果たしています。

(課題の背景)

- ・萩・石見空港は、県西部の観光・産業振興を支える交通基盤として不可欠で、東京線が 2 便運航になったことで、その重要性はさらに増しています。
- ・利用者が減少すると東京線の 2 便運航の継続も困難となりかねないことから、2 便運航継続に向け、県、地元周辺自治体、経済団体等が連携して、次の 4 つを重点項目として利用促進に取り組んでいます。

- ①個人旅行者を中心とした首都圏からの誘客強化
- ②圏域の魅力発信の強化
- ③訪日外国人旅行者の取込み
- ④企業誘致等による基礎需要の創出

(近年の利用状況:年度別)



(萩・石見空港利用拡大推進協議会ホームページ)

<http://hagiiwami.jp/>

②島根県立しまね海洋館アクアス入館者増加のための施策

(しまね海洋館アクアスの概要)

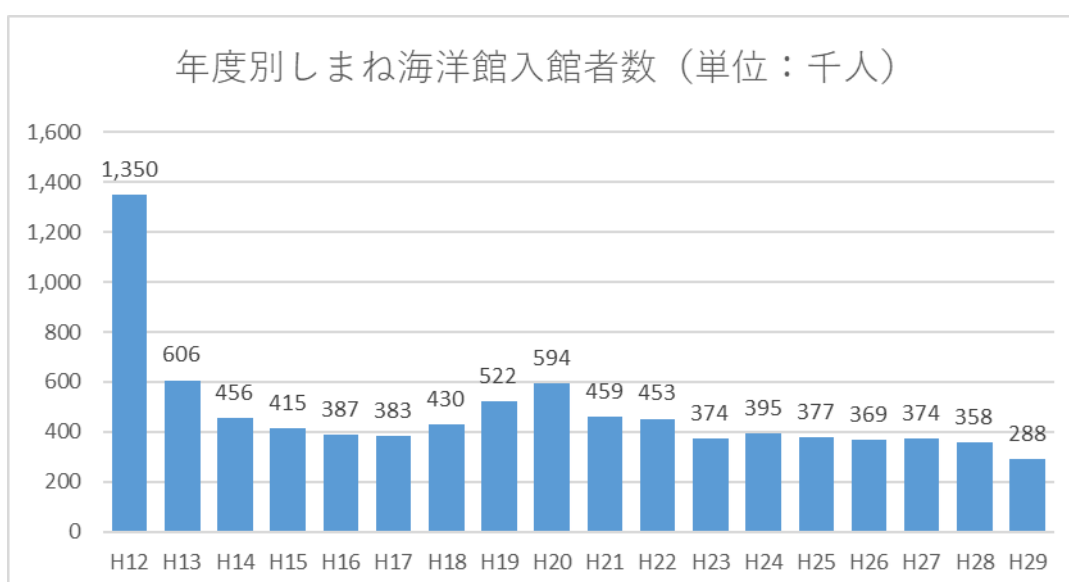
- ・多くの人々が日本海の自然や生態とふれあい、楽しく過ごす場を創造し、賑わいの創出や新たな民間活動の誘発により地域の活性化に寄与するとともに、水族の保護、保全を含めた豊かな海洋自然の大切さについての普及啓発に努めていくことを目的に運営されている島根県立の水族館です。
- ・平成12年にオープンした浜田市と江津市にまたがる施設で、シロイルカによるバブルリングが有名です。
- ・平成30年3月には、シロイルカのパフォーマンスプールがリニューアルオープンされました。

(課題の背景)

- ・しまね海洋館アクアス運営の目的達成のためや入館料収入確保等の観点から、入館者数の増加を図ることが課題となっています。
- ・入館者数の減少や目標とする入館者数が達成できていない状況が続いています。

		H26	H27	H28	H29
入館者数 (人)	目標	407,000	380,000	377,000	307,650
	実績	369,024	373,833	357,772	288,357
目標達成率		90.7%	98.4%	94.9%	93.7%

(近年の入館者数)



(しまね海洋館アクアスホームページ)

<https://aquas.or.jp/>

③しまね留学者の効果的な募集のための施策(関係人口、移住者増加のための施策含む)

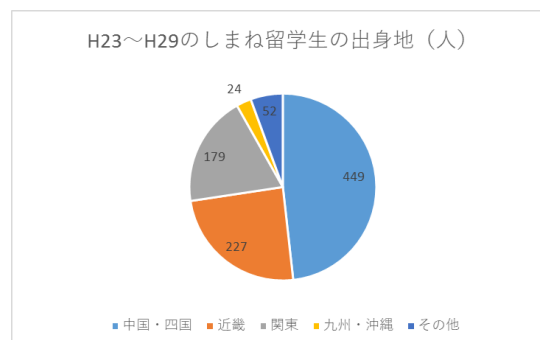
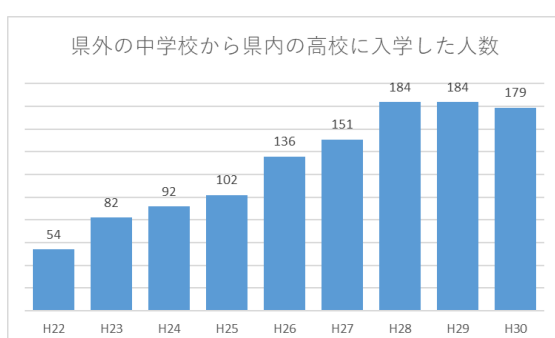
(しまね留学の概要)

- ・「しまね留学」とは、県外に住んでいる意欲ある中学生が、島根県の高校へ入学し、島根県で充実した3年間の高校生活を送ることです。しまね留学は、島根県が主体となって積極的に推進している島根版「山村留学」ともいえます。
- ・現在、島根県では19の県立高校で、全国から「しまね留学生」の積極的な受け入れを行っており、毎年全国から向上心と志を胸に島根の高校へ進学をされる中学生の皆さんが多数いらっしゃいます。
- ・豊かで美しい自然に囲まれ、地域の人々の温かさに触れ、かけがえのない友人と共に充実した高校生活を満喫できる環境が、島根にはあります。島根県の公立高校は、全国でも一番の寮(寄宿舎)の数を誇り、親元を離れて暮らす県外生が安全・安心に暮らせるよう、様々なサポート体制を整えています。

(課題の背景)

- ・全県的に人口が減少する中において、市町村と県立高校とが協働して、地元進学率の向上や県外入学者の増加により学級数を維持するなど、地域の教育力の確保を図ろうとしており、持続可能で活力ある学校づくりを進めようとしています。
- ・また、県外生が、卒業後に島根の良さを全国に発信することや将来的な定住・移住につながることを期待しており、県外から島根に来ていただくことが重要となっています。

(しまね留学の状況)



(しまね留学ホームページ)

<https://shimane-ryugaku.jp/>

④中高生の地域行事への参加者増加のための施策

(課題の背景)

- ・島根県西部地域では、人口減少に合わせ少子高齢化も進んでいることから、地域活動の担い手も不足し、子どもたちが地域の担い手として、地域の方と一緒に活躍していくことが望まれます。
- ・また、地域からは、世代間の繋がり希薄化や地域で子供を見かけなくなったなどの声もあり、子供たちが地域とつながっていく仕組みづくりも必要です。
- ・西部県民センターでは、子ども地域活動推進事業、地域系部活動推進事業などを通じ、中高生と地域を結び付ける事業を展開しているところです。

(西部県民センターホームページ)

○子どもによる地域活動推進事業

http://www.pref.shimane.lg.jp/admin/region/chiiki/iwami/kodomochiiki_suishin.html

○地域系部活動推進事業

http://www.pref.shimane.lg.jp/admin/region/chiiki/iwami/chiikikeibukatsu_suisin.html